

高松市立屋島西小学校

本校では、子どもたちに「個と集団」を意識した楽しく明るい共同生活を築く態度を育てることや個々の自尊感情を高め基礎的生活・学習習慣の定着を図ること等、よりよい生活・学習集団を育て、その中で個別指導する「個」と「集団」に着目した研究を進めています。

実践事例（関連項目：検証改善プラン①-2）

アセスメントを基軸にした自尊感情等の育成

目的

子どもの自尊感情等を科学的・客観的に分析し、自尊感情や学習意欲等の向上を図り、授業で子どもとつながり、子どもと子どもをつなげ、社会スキル・学カスキルを身に付けます。

内容

- **自尊感情テストを活用したアセスメント**
 - ・ 自尊感情5領域テスト等の実施
 - ・ 担任による見取りとテスト結果を併せての分析
- **アセスメントを基にした学級グループ編成**
 - ・ アセスメント（テスト結果や人間関係を含めて）を基に望ましい学級グループの編成
- **授業計画（構想・展開）**
 - ・ 教材開発・研究
 - ・ 学習向上プログラムの実践

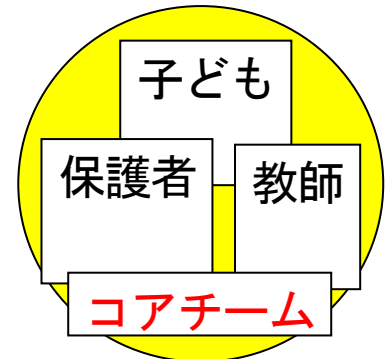
成果

- ・ アセスメントを基にグループを構成したので、子どもたちが他者を尊重し自分の意見を言うことができるようになりました。
- ・ グループ活動自体を楽しめるようになりました。
- ・ 役割・立場を理解できることで自分の居場所づくりができ、自己有用感が育っています。
- ・ 他者と自分の違いに気づくことができ、話し合いに生かせるようになりました。

教師・保護者の連携による支援

目的

- ・ 教師・子ども・保護者がコアチームとなり、個々の子どもの課題を共有化し、目標を定め、具体的に支援していきます。また、個々のスキルアップを目指しています。
- ・ 支援が必要なのは特定の子ども・保護者だけではないことを教師集団（学校）の理念として、すべての子ども・保護者のニーズに応じた支援をすることを目指します。



内容

- 教職員によるコア会議の共通理解
- ↓
- 子ども一人ひとりの確かなアセスメント
- ↓
- コアチームによる課題の共有化
- ↓
- 具体的な目標設定と支援

成果

- ・ 保護者との話し合いが増えたことで家庭の協力が得やすくなりました。また、家庭でできることは家庭で行うなど家庭教育の部分において積極性が見られるようになりました。
- ・ 子ども・保護者が孤立せず、教師や学校との信頼関係を強化することができました。
- ・ 子どもたちの目標が具体的なものになり、取り組みやすくなりました。
- ・ 指導の経緯を記録することにより、教師の感覚のみの引き継ぎではなく、具体的な手立ての引き継ぎができるようになりました。
- ・ 子どもの課題を共有したり、深めたりすることができ、教師の意識改革が進んでいます。